キャンプシーズン到来

2月はプロ野球2球団が市内各所でスポーツキャンプを行います。プロの練習風景を見ることができる貴重な機会です。ぜひ、来場ください。開場時間や駐車場など詳しくは、市ホームページを確認ください。

◎問い合わせ　スポーツ政策課　☎23-9546

千葉ロッテマリーンズキャンプ

本市で初めての1軍春季キャンプです。

◉**期間**
・1軍　2月1日(日)～11日(水)
　2月25日(水)～3月1日(日)
・2軍　2月14日(土)～23日(月)

◉**練習時間**　9時45分～17時（予定）

◉**会場**　都城運動公園

読売巨人軍ファームキャンプ

4年連続のキャンプ。支配下登録を目指し、若い選手らが汗を流します。

◉**期間**　2月1日(日)～27日(金)

◉**練習時間**　10時～16時（予定）

◉**会場**　高城運動公園

今年も開催！球春みやざきベースボールゲームズ（無料）

◉**日時・対戦組み合わせ**

2月27日(金)　13時試合開始
千葉ロッテマリーンズ対斗山ベアーズ（韓国）

3月1日(日)　12時30分試合開始
千葉ロッテマリーンズ対ロッテ・ジャイアンツ（韓国）

◉**会場**　都城運動公園コアラのマーチスタジアム

キャンプ日程

※練は練習試合、オはオープン戦

	2月 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	3月 1
千葉ロッテ（1軍）都城運動公園	歓迎セレモニー			休				サイン会	休		抽選会															練	球春みやざき	オ 野球教室	球春みやざき
千葉ロッテ（2軍）都城運動公園														歓迎セレモニー		休				休		練 サイン会	練 抽選会						
読売巨人軍 高城運動公園	節分イベント		歓迎セレモニー	休					休				休					休						休					

※天候などにより変更の場合あり。2月28日(土)開催のプロ野球オープン戦について詳しくは、本号16ページを確認ください

まちの未来を描く
地域プロジェクトマネージャーの挑戦

本市では、外部の専門的人材を活用し、中心市街地のにぎわいの創出に取り組んでいます。今回は、地域プロジェクトマネージャーとして「歩きたくなるまち」「人が中心のまち」の実現に向けて活動する、池田浩二さんの取り組みを紹介します。

◎問い合わせ　商工政策課　☎23-2983

中心市街地の新陳代謝を促す

池田さんは、令和5年9月の着任以来、市が取り組む中心市街地再生プラン事業の中核を担い、次のような取り組みを通じて、中心市街地の新陳代謝を図っています。

【主な取り組み】
・出店を検討する事業者の相談対応
・出店希望者と物件所有者のマッチング
・空き物件や低未利用地の所有者への積極的な利活用提案
・一級建築士の専門知識を生かし、物件の改修やリノベーション計画の策定支援、老朽化した建物の適切な解体、更新などのアドバイス

【主な成果】
中心市街地の空店舗率改善やにぎわい創出の一助を担っています。
・中心市街地再生プラン事業を活用した新規出店12件
・老朽化した物件の解体11件　など

昨年12月、千日通りにオープンした店舗を訪れる池田さん（右）と店主（左）

学生や地域との協働活動

中心市街地のハード面整備などに加え、ソフト事業にも積極的に取り組む池田さんは、世代や分野を超えた協働活動にも力を入れています。

【都城泉ヶ丘高校との協働】
◎**MCS study café**
学生が居場所を自分たちで作り、中心市街地を学びの場として生かす社会実験としてまちなか交流センターにスタディカフェを設置。若者の視点とまちの空間がつながり、にぎわい創出につながりました。

【都城高専との協働】
◎**JR西都城駅プレイスメイキング**
まちの玄関口であるJR西都城駅の中に魅力的な居場所を作るため、都城高専の学生や建築士会などが共同で木製列車を制作し、駅コンコースに設置しました。

【都城商工会議所などとの協働】
◎**石蔵・石垣保存プロジェクト**
歴史資源を生かしたまちづくりを目的に、石造物の調査や活用方法を検討。これまでに、マップ作成やまち歩き、講演会、記録映像上映会などを開催しています。

にぎわいを未来につなぐ

池田さんが大切にしているのは、ハードとソフトの両面からにぎわいを育てながら、まちに関わる人を増やし、次の担い手が育つ循環をつくること。市では、池田さんと共に多世代が参画する持続可能なまちづくりを通じて、中心市街地の活性化と魅力創出に取り組んでいきます。

市地域プロジェクトマネージャー
池田　浩二さん

都城高専を卒業後、さまざまな建築設計やまちづくりに携わる。東日本大震災の復興に関わった後、「残りのキャリアを地元のために」との思いで帰郷。